



# みちの会だより



平成 19 年 3 月 31 日発行 第 47 号

★ ★ ★ 祝 20<sup>th</sup> Anniversary ★ ★ ★



## 20周年記念祝賀会に参加して

盛田 百合子

3月24日、名古屋キャッスルプラザにて開催された地域開発みちの会の20周年記念祝賀会に参加しました。

開会セレモニーのあと、「映像でつづる20年」と題して設立総会からの20年間のあゆみがスクリーンに映し出されました。

名古屋市と知多半島5市5町という、それぞれ異なった地域性をもちながら“婦人問題”を共通項として地域開発みちの会が結成されたこと、名前の由来も「未知」の世界に向けて「道」となる活動を！の意味が込められている…この思いの深さを感じ取ることができました。

一口に20年といっても、その年に生まれた赤ん坊が成人するまでというこの長い年月を、常に社会性に富んだ適切なテーマを掲げ、なおかつ地域に根ざした活動を地道に続けてこられた諸先輩の努力に対して、会員歴6年目の私は只もう感服の極みでした。

昭和62年といえば、原稿は恐らく手書きだったのでないかと思われます。それがワープロの出現に始まってパソコンへ、今ではパワーポイントを駆使しホームページの開設へと、これもみな会員の旺盛な知識力の表れでしょう。

楽しいアルパの演奏に耳を傾けたり、おいしいフランス料理を戴いたりしながら、まだまだ課題はつきない男女共同参画社会の実現へ向けて30周年の10年後、みちの会は、この社会は、そして、私は…と思いを馳せたひと時でした。

● 東海市男女共同参画推進フォーラムを終えて 実行委員長 稗田とし恵

2月25日(日) 11:00~16:00 東海市立文化センター

会員の皆様のご協力により東海市男女共同参画推進フォーラムを無事終えることができ、本当にありがとうございました。実行委員長という大役は、不安で一杯でしたが、油田会長の「私が全責任をとりますから、やっpegおらんさい。」の言葉に励まされ、前向きな気持ちになる事ができました。

今回の事業は東海市では初めての委託事業で、市との協働事業ともいえるものでした。そのため常に協働課と協議し、一つ一つ確認しながらの作業でした。そのため、時には待ったがかかり、みちの会でどんどん進めていけないもどかしさがありました。でも、たくさんのお会いがあり、いろいろな方のお話が聞けてとても勉強になりました。プログラムや書類のメールでのやりとりは、とても効率がよかったです。五市五町の後援をいただけたこともうれしく、バスを出してまでの参加には、更に頑張らなくてはいという思いになりました。お陰さまで、東海市市議会や男女共同参画推進協議会でも高い評価をいただきました。

以前の私は、家庭・仕事・コミュニティ・児童館母親クラブ・みちの会という優先順位でしたが、フォーラムが近づくにつれ、みごとにみちの会が一番になり、家庭が最後になっていました。「お母さんは、ボランティアしすぎ・・・」とたしなめる長女でしたが、それでも遅くまでパソコンの前でブツブツ言いながらやっている、分からないところを教えてくださいました。夫は何も言わずに家事を手伝ってくれました。家族に助けられてやり遂げる事ができたのだと思います。

「みなさんの個性と能力が十分に発揮できたフォーラム」であったと思います。ありがとうございました。



**総会のお知らせ**

4月15日(日)

東海市しあわせ村  
講義室

10:00~ 総会  
12:00~ 昼食  
13:00~ 全体会

**20周年記念誌発行！！**

何度も何度も編集会議を重ね、「楽しく読んでもらえる記念誌」を目指し、編集委員一同全力で作りました。経費節約のため、委員だけでなく家族の手と能力を借り、印刷屋さんのご好意に甘え、自力で原稿校正をしました。お陰で30周年記念誌は楽勝かな？

「ことばあそび」や「会員の声」、投稿していただいていたありがとうございました。

